

大事協だより

大島地区公立小・中学校事務職員協会研修部

第29号 2010年6月9日発行

〈会長 あいさつ〉 会長 泉 一

梅雨らしからぬ天気が続いていますが会員の皆さん元気で過ごしのことと思います。先日は総会ご苦労様でした。皆さんのおかげで無事済ませることができありがたく思っています。本年も役員が3名入れ替わり新しい気分でのスタートとなりました。会員の協力有っての大事協です。みんなの力でより充実した会にしていきたいと思います。本年もよろしくお祈りします。

〈平成22年度 大事協役員〉

本年度の役員が総会で承認されました

会長	泉 一	(大川小中学校)
副会長	鳥越 正人	(節田小学校)
〃	丸田 高巳	(知根小学校)
書記	阿世知 理恵	(赤木名中学校)
会計	崎坂 百合恵	(龍郷小学校)
監事	笠利・龍郷の予定	

〈懇親会 会計報告〉

今年度も第1回小中学校事務職員研修会終了後に懇親会が開催されました。厚生部担当の方々のご協力のおかげでスムーズに懇親会が進みました。この場を借りてお礼申し上げます。その懇親会での会計報告を致します。

収入)

参加費 4,000円 × 83名分 = 332,000円
(会員75名, 補助1,000円 × 75名)

支出)

料理代 2,800円 × 84名分 = 235,200円
飲み物代 1,200円 × 81名分 = 97,200円
計 332,400円

収入) 332,000円 - 支出) 332,400円 = ▲ 400円

※ 不足分 400円を大事協が負担しました。

〈各地区からのたより〉

今回の原稿は、①知名町②天城町③瀬戸内町から届きました。次号は、10月発行予定です。①和泊町②宇検村③奄美市東部ブロック④奄美市西部ブロックへお祈りします。

その他、各市町村の研修会での様子、様々な取り組み、写真・趣味等原稿お待ちしております。

(1)知名町事務職員会

はじめまして!知名町よりこんにちは。知名町事務職員会は、小学校中学校あわせて7校の7名で構成されています。3月に4名を見送り、涙に暮れた知名町事務職員会ですが、4月新たなメンバーを迎え笑顔を取り戻し(!?)心機一転がんばっているところです。

本町の体制として、認定事務研修会を年5回開催し、年10回の町事務職員研修会と並行しながら「正確かつ適切な事務処理、責任ある、信頼される認定事務」を目指し、相互点検及び協議等の研修を行っています。

1. 認定事務への取組

①本町独自の「認定協議結果報告書」を相互点検及び協議のベースとしています。同報告書の点検項目の注意点に従い、該当する手当1件につき、全員で「相互点検」という方法です。

②児童手当・扶養手当の伺い書等の様式及び記載事項の統一を図っています。より効率的に点検・協議しやすいこと、また共通認識が持てることがその理由です。

2. 町費事務への取組

①異動のサイクルが早く、かつ経験の浅い事務職員が多いという現状に着目し、20年度から21年度にかけ町費事務(町予算・就学援助・補助金・備品)のマニュアル作成に取り組んできました。

7名中4名は初～3年目という経験の浅い事務職員が多い本町ですので、上記のような取り組みや事例研修はもちろん、日々仕事をする上での疑問点などを解決する場としても研修会は大変有意義なものとなっています。先輩方の知識と経験に支えられながら、より充実した研修を目指して今後も右往左往・・!?しっかり前を見据えて、精進していきたいと思えます。

下平川小学校 須貝 明子

(2)天城町事務職員会

当事務職員会は、6名の事務職員で構成されています。

ここ十数年変わっておりません。6名の性別、年齢構成は興味がないかと思いますが、念のためお知らせいたしますと、大ベテランの先生が男性ですが1名、中堅どころが男性2名、新規採用が男性1名、採用3年目が男女1名ずつです。(詳細はそれぞれ個々にお聞き下さい。)さて、どのような活動をしてきたかについては、これまでもお知らせしたところですので今年の研修テーマについて述べさせていただきます。さらには、当事務職員会会長の幸多勝弘先生が事務局長として大活躍の「徳之島の自然を守る会」の活動を少々述べたいと思います。なお、当事務職員会の新規採用の向井先生につきましては、改めて本人に寄稿させますので、どうぞ期待。

☆

本年度も「学校事務支援室体制の充実～共同実施への対応～」ということであるが、法的制度の確立(つまり町教委との連携による共同実施の設置要項等の整備、通知)と実際に事務支援をする際にどのような形でやるのか・・・。

回数、場所、内容、事務を執る際に必要な物品等改めて確認と共通理解を図る必要があります。幸いなことに徳之島地区には、徳之島三町の事務職員会で構成する徳之島三町事務職員会があり、ここである程度の情報収集と相互理解が図れる(ということである)ので、各事務職員会の自主性は尊重されるが、お

おいに助かっています。(筆者がうるさいので議論がすまない?(笑)) とにかく、共同実施にしろ、相互支援にしろそれぞれ厳密には相違があるが、実施しないわけにはいけないので、タイムリミットを見ながら進めていく所存です。

☆

さて、ここからはまったく変わって「徳之島の自然を守る会」について本人に代わってお知らせします。もともと詳細はホームページをご覧下さるとありがたいですが、まさに徳之島に生息する貴重な動植物(アマミノクロウサギ、オキナワウラジロガシ・・・)を守る活動、その中には行政が推進している「世界遺産登録」も含まれます。が、今日では、沖縄の普天間基地移設問題の方が有名になりましたが・・・。まず1/27にマスコミによる徳之島に普天間基地を移設する候補になったという報道を受け、先生が事務局長として反対の意思表示をしたのが発端です。その後、いくつかの会合を重ね3/28天城町総合グラウンドで4,200名(主催者発表)来賓に民主党を除く各政党の関係者が並び行われました。さらに、全国にも大々的に流れましたが、4/18徳之島町にある亀徳新漁港に15,000名(主催者発表、人口の約半数)もの人々を集め反対集会がおこなわれました。その母体となったことは言うまでもありません。三町によって名称等は違いますが、区長会や老人クラブ町職員組合、教員組合、農業協同組合、漁業協同組合、女性連などの各種団体、そしてそれぞれ3町長の強い反対の決意が伝わってきたのではないのでしょうか。後日幸多先生にもご寄稿下さるはずなので、そのあつい闘い(まだ終了していません。)を語っていただきます。

西阿木名小学校 阪口 一郎

(3)瀬戸内町事務職員会

新規採用職員より早くも便りをいただきました。

「新規採用に当たっての所感」

私が学校の職員として着任してから早くも三週間が経った。これまでのところ事務職員としての仕事に、そして学校に慣れていくこととにかく必死だった。特に4月は年度初めの事務処理が大変多く、あれもこれもと手をだしてしまうと収拾がつかなくなってしまった。ここで一つ学んだことは、自分自身の中で仕事の順序を組み立てていくことであった。そうすることにより一つ一つの仕事の整理をしていくことができる。

しかしながら、実際のところまだうまく整理はできていないので、これからの大きな課題だあるといえる。

また、ここまでのところ近隣の先輩事務職員の先生方の支援なしには仕事を進めることができなかった。

知らないことはミスが出てしまう前にまず聞くことが大事であると強く感じた。

分からない事だらけではあるが、積極的に先輩職員の先生方のアドバイスや教を吸収して自分自身のものにしていきたい。

事務職員は他の教諭(職種)とは違い児童、生徒と接する機会が少ない。そこで私は、部活動の顧問や地域行事への積極的な参加を通じてコミュニケーション能力を高めていきたいと考えている。

まずはこの一年間を大事に過ごし、今後の流れを一つ作っていききたい。

瀬戸内町立古仁屋中学校 梶木 賢一郎

大島地区事務職員の皆様、既に真夏のような日が続くようになり、お身体等、崩していらっしゃるかもしれませんでしょうか。こんにちは、瀬戸内町公立小・中学校事務職員会です。

瀬戸内町には小中併設校7校と単独小学校8校、単独中学校3校の計18校(併設別にすると25校)があり、ほとんどの学校が児童生徒数20人以下の小規模校です。しかし平成の合併前までは鹿児島市に次ぐ学校数を誇り、事務職員数も最大18人いたのですが、今では9人の精鋭で活動しています。ほとんどの事務職員が兼務校を担当し、最大5校を兼務している事務職員もおり、小さな学校の割には、毎日忙しい日々を送っているのが現状です。

また瀬戸内町は大島地区でも唯一の、また鹿児島県でも数少ない、複数の有人島で形成された町(奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島)であり、その全てに学校が存在するという同じ町内に多種多様な事例のある恵まれた所です。そのため、認定事務の事例には事欠かきません。

研修会は、毎月上旬に『町事務職員会』、下旬に『町諸手当認定事務等に係る相互支援会』を、年1回管外研修を行っています。

離島の中の離島と言われる瀬戸内町ですが、雄大な大島海峡の壮観をはじめ、大島地区の他の市町村に負けない美しい景観と深い文化のあるところです。是非皆様、瀬戸内町にいらしてください。

瀬戸内町公立小・中学校事務職員会

研修担当 盛山 喜昭

<会長から お詫び>

先日の総会で22年度予算を承認して貰いましたが、その後弘済会の協力費が一人あたり2,000円と昨年度より3,000円減となっていることが判りました。

そこで暫定措置として地区活動費を一人あたり3,000円減の20,000円とさせていただきますと考えています。ご不満もおありかと思いますが何卒ご理解いただきたく存じます。

尚、この件に関しましては第2回理事会で審議頂く予定です。今後は十分注意していきますので、今後ともご協力よろしくお祈いします。

○大事協は次のような意義のもと
設立・活動しています○
○御確認をお願いします○

<協会設立の基本理念に則り、
更なる発展を目指して活動する。>

- ①大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪(わ)」を目標とする。
- ②本会は、地区内の緩やかな繋がり
親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③大島地区内における情報交換の場とする。
- ④実務研修の充実を図る。